



新潟市民のお口の健康を守るために活動しています。



新潟市歯科医師会通信

新潟市歯科医師会 2019年4月発行

新潟市にも^{こうくう}歯科口腔保健推進条例が成立しました!

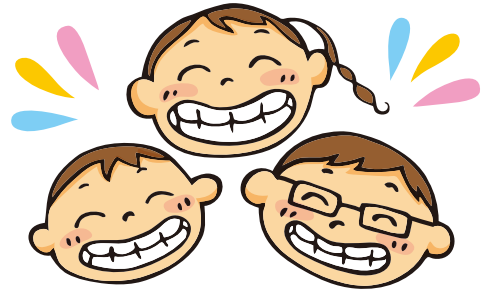


新潟市^{こうくう}歯科口腔保健推進条例

平成30年12月28日交付

市民の皆様が、生涯にわたって、健康で、質の高い生活を送るために制定された市民のための「新潟市歯科口腔(こうくう)保健推進条例」です。

歯とお口の健康から始まる健康寿命延伸を目指し、元気で、長生き、豊かな幸せを目指しましょう!



新潟市^{こうくう}歯科口腔保健推進条例

新潟市議会12月定例会において議員提案された、「新潟市歯科口腔保健推進条例」案が、平成30年12月25日に可決され、同月28日に交付されました。

医療、社会問題などについての知見、更に市内の各地域の特性及び差を踏まえた施策を展開することにより、誰もが収入や家庭環境の差に関わりなく、また、生活する市内地域がどこであっても、生涯にわたって切れ目なく、必要な歯科口腔保健施策及び歯科医療を受けることができる環境を整備し、市、歯科医療等関係者、保健医療等関係者その他の関係者が協働しながら、歯科口腔保健に関する取組を更に推進することを目指し、この条例は制定されました。以下に条文の1部を抜粋します。

条例の目的 (第1条)

市の歯・口腔の健康づくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、市の責務並びに市民、歯科医療等関係者、保健医療等関係者及び事業者の役割を明らかにするとともに、歯科口腔保健施策の基本となる事項を定め、もって市民の生涯にわたる健康の保持増進を図ることを目的とします。

基本理念 (第3条)

歯・口腔の健康は健全な食生活を営むための基礎であり、疾病の予防の上でも重要であることから、歯科口腔保健施策の推進については、保健、医療、福祉、教育その他の関連施策との有機的な連携を図りながら次に掲げる事項を基本理念とします。

- ・ 歯科口腔疾患の予防、早期発見及び早期治療に関し、市民の自発的な取組を促進すること。
- ・ 乳幼児期から高齢期までのそれぞれの時期における歯・口腔機能の状態に応じて、切れ目なく、適切かつ効果的に実施すること。
- ・ 所得格差や歯科口腔保健に関する地域の特性及び差に配慮すること。

市の責務・市民の役割・歯科医療等関係者の役割

- ・ 市の責務(第4条)
歯科口腔保健施策を総合的かつ計画的に推進するとともに、適宜、検証する責務を有します。
- ・ 市民の役割(第5条)
歯・口腔の健康づくりに関する正しい知識及び理解を深め、歯科口腔保健施策を積極的に活用することなどにより、自ら歯・口腔の健康づくりに取り組むよう努めます。
- ・ 歯科医療等関係(第6条)
保健医療等関係者との連携により、市民の歯・口腔の健康づくりを推進するとともに、歯科口腔保健施策に協力するよう努めるものとします。

主催：新潟市歯科医師会 共催：新潟市

新潟市歯科口腔保健推進条例 制定記念イベント

歯とお口の健康から始まる健康寿命を目指して！
元気で、長生き、豊かな幸せを目指して！

日時

2019年 **5月19日** 11:00~14:30

イベント
入場無料

ところ

新潟日報メディアシップ 新潟市中央区万代3-1-1

第1 会場

歯科口腔保健推進条例記念イベント 12:30~14:30

会場 1F みなと広場 (エントラスホール)

内容 オープニングイベント 司会：表 佳世さん

「万代太鼓」 飛龍会さん

「条例説明および条例に関するトークショー」

新潟市歯科医師会会長：岡田 匠さん

第2 会場

歯科ブース 11:00~14:30

会場 1F メディアシップスタジオ

・新潟県歯科衛生士会新潟ブロック (ブラッシング指導・ブラッシング圧測定)

・明倫短期大学

1.口腔機能低下症の検査無料体験

2.摂食・嚥下体操「新潟えんげ甚句」の紹介

3.赤ちゃんの歯磨き体操「よい歯よこい」の紹介

4.明倫短期大学の紹介

・グラクソスミスクライン (製品紹介)

・UHA味覚糖 (咀嚼判定(グミ)・製品紹介)

・ロツテ (咀嚼判定(ガム)・製品紹介)

新潟市行政・歯科関係者のみ

新潟市歯科口腔保健推進条例制定記念式典 15:00~16:30 会場：2F 日報ホール

●●● 歯科医師会活動報告 ●●●

正しいホワイトニング セルフホワイトニングの危険性

Q 歯医者さんでするホワイトニングと、ホワイトニングサロンや自分で買ってするのは違いはありますか？

A 歯科医院ではホワイトニングを歯科医療の一環として行っています。

歯科医院、歯科クリニック

ホワイトニングを歯科医療の一環として行っているため虫歯や歯周病がある方、被せ物など歯科治療を受けている方でも安全にホワイトニングができます。診査や診断、前処置を行ってから進めます。

●オフィスホワイトニング：院内で処置を行います。高濃度の薬剤を使用するため短期間でホワイトニング効果が得られます。

●ホームホワイトニング：自身で自宅で行います。専用のマウスピースに薬剤(ジェル)を流して装着します。はみ出しても安全な低濃度の薬剤を使用しているため、オフィスホワイトニングに比べ白くなるスピードはゆっくりですが、白さの維持力が長いとも言われています。

歯科医院以外(ホワイトニングサロンなど)、薬液の個人購入など

メリットは低価格、短期間で終わられるなどです。しかし施設によってはむし歯、歯周病などの検査、治療がおこなっておらず、未治療のまま進めちゃうと、歯や歯茎、口の粘膜に健康被害を引き起こすことがあります。また個人購入では誤った濃度の薬剤を購入してしまい健康被害が出てしまうケースもあります。

ホワイトニングの内容・違いを理解していただき、できるだけ安全にホワイトニングを受けてもらいたいと思います。

● ● ● 歯科医師会活動報告 ● ● ●

骨粗鬆症の治療を受けている患者さんへ!!

骨粗鬆(こつそしょうしょう)症、悪性腫瘍(がん)による骨病変等で、定期的な投薬や注射を受けておられる患者様は、副作用の一部に**抜歯後の治りが悪くなり、症状が進行すると顎(あご)の骨の壊死(組織が死んでしまう)や骨髄炎が起こることがあります。**歯科治療の際、お心当たりのある方は担当歯科医にご相談下さい。



にいがた西地区食と栄養サポートネット

超高齢化社会となり今後も高齢者の割合が増えていく中で、食と栄養に関わる問題は医療・介護の現場で益々大きくなっています。そういった課題を地域における様々な職種が様々な立場から共有し、病院、診療所、施設、在宅を効果的に結び付けることで少しでも解決できるように2017年に発足いたしました。

活動内容

年3回の「地域交流研修会」を開催し、毎回多数の医療・介護関係者が参加されています。食と栄養に関する知識を深め、地域における課題を検討するとともに、顔の見える関係づくりを目指しております。

また、より専門的な検討を行う「症例検討会」や病院と介護施設の食支援における情報共有を目的とした「食支援プロジェクト」を地域の専門職に協力して頂きながら行っています。

<http://niigata-ins.sakura.ne.jp/index.html>



笑顔の向こうに

日本歯科医師会が8020運動30周年記念事業の一環として「笑顔の向こうに」という映画を制作いたしました。映画より歯科医療の重要性や歯科技工士さん歯科衛生士さんの仕事の大切さが皆様に伝わるように制作いたしました。第16回モナコ国際映画祭の最優秀作品賞を受賞いたしました。(平成31年3月7日に公開は終了しております。)

ケアマネさん注目!!

“無料”で訪問歯科健診が受けられます!!

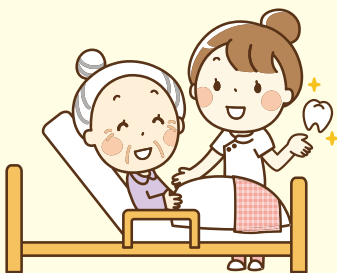
タダほど怖いものはないと思われるでしょうが、ご安心ください!! 新潟市歯科医師会が支援しているので大丈夫です。

下記3つに当てはまる方は、無料で訪問歯科健診を受けられます。

- 後期高齢者医療被保険者の方
- 在宅で要介護3・4・5と認定されている方
- 1人で通院できない、新潟市内に住所がある在宅の方

※要介護1・2の方や、有料老人ホーム等のお住まいの方でも、対象となる場合があります。健診の結果治療が必要となった場合は治療費がかかります。

口は食事により体を作り整える大事な器官。口腔環境を良くしただけで寝たきりが改善した事例もあります。これを見て「なぬっ」と思われた皆様、まずはこちらにお問い合わせ下さい!!



新潟市在宅歯科医療連携室 受付時間 月～金 9時～17時 ※祝日を除く
〒950-0914 新潟市中央区紫竹山3丁目3番11号
新潟市総合保健医療センター4階 新潟市歯科医師会事務局内
Tel:025-244-5231 Fax:025-244-7221 Mail:info@endnw.or.jp

各区活動報告

北区

ござれやネットとは新潟市北区において、「住み慣れた地域で、尊厳を持って、最後まで幸せに暮らせる」地域づくりのため、在宅医療に関わる多職種の人達が集まり、「自由に語り、励まし合い、学び合う場」として活動しています。「在宅医療」に関わる多職種の人達がそれぞれの職種の仕事を理解し、顔の見える繋がりを構築するための集まりです。



秋葉区

平成30年9月30日(日)新潟薬科大学新津駅東キャンパスにて、薬剤師会と歯科医師会秋葉区1班共催による「くすりと歯の健康フェア」を開催しました。中央区の山本真也先生に、誤嚥性肺炎予防について講演して頂き、その他のブースでは、衛生士ユニフォームで記念写真、G・U・M PLAY等を行いました。当日は、新潟市に直撃した台風の影響もあり、参加人数は例年より少なめでしたが、参加者からは、とても役に立ったなどの意見が聞かれました。



各区活動報告

南区

「食べる・しゃべる・笑う」元気会議

2013年、2016年に行われた「健康とくらしの調査」NIIGATA HEARTのデータにおいて、白南中学校区高齢者の口腔機能低下と認知機能の関連性が示されました。

そこで、白南中学校区において「認知症になる前後に必要な口腔ケアの理解を広げること」を目標に発足された会議です。テーマは地域住民の認知症の理解拡大と住民同士の見守りや助け合いの発展のために医療機関等と認知症対策を進めること。協力機関は

新潟市在宅医療・介護連携ステーション南 白根緑ヶ丘病院 認知症疾患センター

第2層支え合いのしくみづくり会議 南区健康福祉課 地域健康係となっています。

地域包括支援センターしろね南とこれらの協力機関の代表者をコアメンバーとして2018年の春頃から月に1回程度会議を重ねてきました。2018年11月15日には圏域高齢者ケア会議を開催し、「口腔ケアについて地域啓発をどのようにしたらよいか」を議題にグループワークを行いました。白南中学校区の高齢者の方々51名がお集まりになりました。

●内科受診する人に歯科へ受診を勧めたい。

⇒歯科でもこのような取組のもと歯科受診していることを歯科、医科で共有 できていることが必要

●在宅無料歯科検診制度をケアマネが理解し、勧める。

等、たくさんの意見を頂きました。その中で「認知症になる前後に知っておく口腔ケア」の演題で講義を行いました。

高齢者に対して口腔ケアの重要性や、歯科受診、訪問診療などの啓発を医療機関や関係者を通じて進めていかないといけないと実感しております。実際に介護現場に携わる方々も、口腔ケアの重要性はなんとなくわかるが、具体的にどのように行うかが分からないという声が聞かれました。

今後は地域住民への歯科と認知症についての意識調査を行い、その結果でどのように関係者に協力していただいて地域住民に口腔ケアの重要性と歯科受診の啓発を行っていくかということを検討し、グループワークで出た意見と合わせて具体的な啓発活動につなげる予定です。



西蒲区

平成28年度より、西蒲区の健康寿命の延伸を目指し、区づくり事業として「にしかん健康プロジェクト」が立ち上がりました。平成30年度は、体の健康に大きく影響し「食べる喜び」につながるお口の健康に関するパンフレットを製作しました。西蒲区内の歯科医師・歯科衛生士・言語聴覚士・栄養士・保健師・看護師などの専門職が検討会を重ねて、西蒲区の地域の特徴をふまえたパンフレットを製作し、お口の健康に関心を持っていただく「みんなで楽しくハハハの歯(動機付け編)」と、毎日の暮らしに役

立つトレーニング集「くちトレ」が完成しました。この冊子を毎日の暮らしに取り入れて10年後も20年後も健康で豊かな生活を送るために役立ちますように!



江南区

「第4回こうなん健口フォーラム in 曾野木」

平成30年12月9日、江南区の曾野木地区公民館ホールにて健康フォーラムを開催し、42名ご参加いただきました。明倫短期大学副学長・新潟大学名誉教授の宮崎秀夫先生より「お口の健康と老化予防」についてご講演をいただき、咀嚼ガム体験、新潟えんげ菖句によるお口のトレーニング、歯科医師によるなんでも歯科相談を行いました。

明倫短期大学、在宅医療介護連携ステーション江南、地域包括支援セ

ンター曾野木両川、江南区健康福祉課の皆さんの協力の元、今回は曾野木地区に限定した小規模の開催でしたが、小規模ならではの和気あいあいとした良い雰囲気の中で、無事にプログラムを終えることができました。



東区

「東区問題提議委員会」:

東区は生活保護など生活困窮者が多く居住しており、口腔内の状態も新潟市の平均より悪い。この状況に対して行政(東区役所健康福祉課)からも改善できるように働きかける必要があり、その為に交渉を行う。また、新潟県立大学健康栄養学科の村山伸子教授にも参加頂き「公衆栄養」をテーマに2回協議を行った。

「東区支え合いの仕組み作り会議」:

東区では高齢者が住み慣れた地域で、自分らしく暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう、「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。(東区役所健康福祉課高齢介護課)市歯会から本会議への構成員として参加すると共に、事業に対して協力と助言を求められた。今後は定期的な会議を重ねながらシステムの構築を目指す。会議は1回終了、次回3月。

中央区

中1班と中2班は合同で3年前より同地区の薬剤師会と勉強会及び懇親会を開催しています。

新潟島、特に「しもまち」と呼ばれる地域は新潟市の中でも高齢化が進み、独居老人も多く在宅診療のニーズも高い地区です。開業医が個別に在宅診療に取り組む一方、在宅ネットワークも立ち上がり他職種連携も進んでおります。

歯科医師会、薬剤師会もそれぞれ在宅診療に取り組んではいませんがお互いに何をやっているのかわからない状況でした。そこで同じ在宅診療に取り組む両会が、お互いの活動を理解し、より密に連携することが、患者さんにとって有意義になると考えこの会が発足しました。昨年より医師会も加わり、今後は新潟島の三師会に発展すればと考えています。

西区

新潟市歯科医師会西区(1,2班)は、9月2日(日)に寺尾中央公園で開催された「ふれあい坂井輪まつり」に歯の健康フェアの一環として参加致しました。

「ふれあい坂井輪まつり」は毎年9月第1日曜日に開催されるフリーマーケット、ステージでの発表や抽選会、いろいろなブースでの食品、物品販売などがあり、多くの市民が訪れる西区恒例のイベントです。毎年このお祭りにブースを構え、お祭りに参加されている市民の方に歯の健康クイズに挑戦していただき、当会会員が1対1で答え合わせをしながら、お口の健康に関心を持っていただくとともに、お口のお悩みに対する相談を受け付けています。毎年参加して下さる方も多く、「今年の問題は去年より難しい」「勉強になった」などの声が聞かれました。また、「以前にこのクイズで歯周病と糖尿病との関連につい

て学び、歯科医院を受診したところ、糖尿病が劇的に改善し感謝しています」という方もいらして、広報活動として継続してきた効果を感じることができました。

これも例年のことですが、クイズに参加していただいた方には歯ブラシや歯磨剤などのセットを配布し、お子様向けには輪投げのゲームに挑戦してもらっておもちゃを配布しています。この効果もあり、高齢者から小さいお子さん連れの家族まで、午前中だけで200名を超える幅広い年齢層の方に参加していただくことができました。



新潟市歯科医師会

一般社団法人 新潟市歯科医師会

会長：岡田 匠

〒950-0914 新潟市中央区紫竹山3丁目3番11号 新潟市総合保健医療センター4階

TEL : 025-244-5231 FAX : 025-244-7221

Mail : info@ndnw.or.jp ホームページ : <http://ii-ha.net/>